

光明小保護者説明会について(報告)

日時	令和8年(2026年)3月11日(水)17:00~19:20
場所	光明小学校 4階 多目的室
出席者	会場参加者:約50人、オンライン視聴者:約50人 光明小校長、教育委員会:5人
資料	光明・未成地域における学校規模の適正化について
主な質疑応答	<p>①放課後児童クラブ(育成会)の定員確保を求める。両校の交流機会を求める。 →中山台の事例(定員増)を参考に、受け入れ可能な体制を整備する。統合1年前から合同行事を行うなど、交流を深めていく。</p> <p>②なぜ保護者より先に子どもへ説明したのか。なぜ光明小への説明がこれほど急なのか。なぜ未成小と合同でないのか。 →地域団体への説明(3/8)から情報が漏れて子どもが動揺するのを防ぐため、学校側の判断で翌日3/9(月)に子どもへ伝えた。合同より各校で開催する方が、より多くの意見を聞いて良いと判断した。 →新年度すぐではなく、信頼関係のある担任や学級の体制がある今が良いとの判断である。</p> <p>③具体的に子どものメンタルをどうケアするのか。 →子どもに直接語りかけ、日々様子を注視している。今後はカウンセラー等の専門家も含め、個別に必要な支援を行う。</p> <p>④校舎の跡地を児童館など、皆が来られる場所に活用してほしい。 →地域の声を反映させるよう、公共施設マネジメント推進会議等の場で伝えていく。</p> <p>⑤資料にある「小規模校の課題」は決めつけてあり不適切。統合時期(令和10年度)も早すぎる。このような説明にショックを覚える。 →表現については誤解がないよう、メリットも併記する形に修正する。統合時期については今日をスタートとして丁寧に検討したい。</p> <p>⑥光明小保護者が未成小に見学に行くのみでは、吸収されるような形に見える。未成小の児童や保護者、先生も光明小に見学に来るべきである。 →両校が対等に互いの良い部分を学び合い、連携していけるようにする。</p> <p>⑦表面化しない子どものストレスや、親の負担を軽視しないでほしい。 →しっかりと子どもの心情に寄り添う。これまでもそうしてきたように、「どんな学校を作っていくか」を考えていけるようにしたい。</p> <p>⑧宝塚第一中への緩和措置(選択制)は維持されるのか。 →緩和措置については、統合後も継続して維持する。</p> <p>⑨保護者の意見で計画を覆せるのか。また、長期的な移行措置(統合に係る影響を小さくするような措置等)を設けないのか。 →周辺校も小規模化するため統合は避けられないが、移行措置は課題として検討する。</p> <p>⑩子どもからアプリ等で個別に意見を聞く仕組みは検討できるか。 →子どもの意見表明権は尊重し、吸い上げ方を検討する。</p> <p>⑪2年前に「計画はない」と言われたのに不信感しかない。なぜ、まず保護者と対話できなかったのか。</p>

→2年前には具体的な計画はなかったが、昨秋から検討を始めた。情報が曲がった形で伝わることを防ぐための判断だったが、今後は保護者を第一に考えて進める。

⑫資料の書き方だと吸収合併のように見えるが、協議の余地はあるのか。

→両校を一旦閉じて新しい学校を創る「新設統合」を基本とし、場所として未成小の施設を活用する考えである。

⑬跡地を「学びの多様化学校」や市民への開放スペースにする案を協議できるか。

→跡地利用については、市全体の会議に地域・保護者の声を届けていく。

⑭新入生や未就学児の保護者への説明はどうするのか。現場の先生を批判の矢面に立たせず、教育委員会が支えてほしい。

→未就学児の保護者へも対面での説明の機会を設ける。統合は教育委員会が主体的に責任を持って対応し、学校任せにはしない。

⑮中山台の統合期間はどれくらいだったのか。

→幼稚園の廃園や中学校の議論の他、コロナの影響もあり、中山台は約6年である。

⑯なぜ地域団体への説明を保護者より優先したのか。

→地域団体を優先する意図はなく、日程上の都合であったが、今後は保護者への周知を優先するようスケジュールを設定する。

⑰統合時に高学年となる学年の不利益を考えてほしい。

→統合が成長の機会となるよう最善を尽くす。

【以下、オンライン等での質疑応答】

①期限ありきで拙速に進めると負担がある。跡地利用も並行して協議すべき。教員不足や予算等の行政側の内部事情とロードマップを示してほしい。

→行政運営の持続可能性（税込減と施設維持の困難さ）という視点では適正化は避けられない。次回以降、具体的なロードマップを提示する。

②中学校区変更前後の光明小学校からの進学実績は。 (単位:人)

年度	宝塚第一中学校	高司中学校	その他
令和6年(2024年)	14	9	9
令和7年(2025年)	2	18	2
令和8年(2026年)	6	21	1

③高司中学校・宝塚第一中学校からの進学実績は(学校名、コース等)。(単位:人)

→各中学校における進学状況について、生徒一人ひとりの進路希望や適正に応じて多様であり、進学先も幅広くなっている。教育委員会としては、進学先の学校名を公表することについては、在籍生徒数の規模等によっては、個人が特定される恐れがあるほか、卒業中学校の誤った先入観を与える恐れがあるため、差し控えている。以上のことから、「国公立」「私立」「その他」の区分での回答とさせていただきます。

年度	宝塚第一中学校			高司中学校		
	国公立	私立	その他	国公立	私立	その他
令和6年(2024年)	150	38	19	89	21	10
令和7年(2025年)	106	32	9	75	20	3
令和8年(2026年)	100	39	15	71	26	13

	<p>④高司中、宝塚第一中の各々におけるいじめ事案を教えてください。</p> <p>→各中学校のいじめ事案に関わる情報やいじめの認知件数については、在籍児童生徒数によっては、個人の特定につながるおそれがあるため、公表は控えている。</p> <p>⑤令和7年度高司中2年において、児童数100に対して学級数4となっている何らかの事情があるのか。</p> <p>→学習面や生活面においてきめ細かな支援を必要とする状況等、より丁寧な指導や支援を行うことを目的に、学校に配置された教員の中で学級数の弾力的な運用を実施している。</p> <p>⑥統合について、小規模校のデメリットのみが過剰に主張されたが、維持管理コスト面の理由ではないのか。市教委並びに市公共施設管理部門は、長寿命化計画を考慮外・無視しているのか。</p> <p>→宝塚市学校施設長寿命化計画を考慮していないわけではなく、今後も少子高齢化、人口減少の進展が予想される中、全ての学校施設を維持することは困難なことから、市立学校の適正規模・適正配置の取組を進める必要があると認識している。</p> <p>⑦統合時期は最短で令和9年度末と言われたが、統合に伴う廃校の期限としては、長寿命化計画に書かれた令和17年度末との認識では何か不都合があるのか。</p> <p>→同計画は、学校施設の老朽化対策や改修・更新の優先順位を示すものであり、個々の学校の統合や閉校の時期を確定するものではない。また、この計画は学校施設の劣化状況や学校の再編・統廃合、児童数の推移、教育環境の変化等を踏まえ、必要に応じて随時見直しを行うこととしている。</p> <p>近年は、35人学級の拡充や特別支援学級に在籍する児童数の増加など、子どもたちを取り巻く教育環境が大きく変化している。こうした状況の中、小規模校においては、文部科学省が示しているように、学級編成や教育活動の幅、教職員体制の確保等の面で課題もあると言われており、子どもたちにとってより良い教育環境を確保する観点から、できるだけ早期に方向性をお示しする必要があると考えている。</p>
協議録(概要)	
事務局	<p>お忙しい中、ご参加いただき感謝する。</p> <p>本日は教育委員会からの説明の後、質疑応答という流れで、全体で1時間程度を予定している。それでは早速、教育委員会より説明をさせていただきます。</p> <p>事務局</p> <p>説明の前に、地域の状況を少しお話させていただく。</p> <p>資料のとおり、少子化と高齢化、この2つが大きな課題で、宝塚市だけでなく、日本中がこの課題に直面している。昭和50年代後半から、子どもが増えていない状況が続いていることと、高齢者の割合が非常に増えていることが大きな課題である。</p> <p>資料1番目、左側の表で、折れ線グラフは子どもたちの数である。小学校で、市内全校合わせると2万人弱まで増えた時期もあった。中学校は約半分で、1万人に届かなかったぐらい。小学校より少し遅れてピークがきている。その後、少子化の影響で子どもたちの数が減ってきて、真ん中より右あたりに、少し増えている傾向があるのは、子どもたちが増えたというよりも、色んな企業が持っていたグラウンドや保養所が売却され住宅になり、自然に増えたという一時的な社会的要因増であった。そうした開発ももう終わってきており、また人口が減少に転じているという状況である。</p> <p>右側の表は生産年齢人口がどれだけ減ってきているかというものである。グリーンの</p>

一番濃い生産年齢人口が非常に減ってきて、高齢者の方が増えてきている。ここで何を言いたいかというと、どんどん社会を支える人口が減ってきて、支えられる高齢者が増えてきている。これに合わせて人口が増えていた時代に作った学校を含む公共施設をわずかな人口で維持していかないといけないという課題があるということである。

左側の表の棒グラフは学校数を指すが、ずっと右肩上がりて、小学校が近年になって少し下がっている状況。中学校は12校を維持しており、これは子どもの数のピーク時のままである。

小学校は24校あったが、数年前に中山五月台小、中山桜台小を統合して中山台小になった。1校減った分、少し学校数が減ったが、ピーク時の2万人に近かったときの学校数を維持しているということである。今は約半分近く、60%以下まで子どもの数が減ってきているので、学校の数を60%まで減らそうということではないが、一定の数の適正化を図っていかねばならない。

この適正化の視点だが、単に学校の数を減らしていこうではなく、教育環境として支障が生じてくるであろう学校を一定整理していく必要があるというところで、小規模校が1つの対象になってくる。この小規模校というのを、教育委員会では、全学年が単学級になった段階と考えている。そういうわけで、現在光明小は小規模校である。

かつて中山五月台小が全学年単学級であったので、隣にある400人ほどの規模の中山桜台小と統合することで適正な規模を維持した。中山桜台小も決して人口が増えているという状況ではなく、かつては1,000人近い学校だったが、子どもが400人ぐらいいまで減っていたので、両校にとってメリットのある統合をしていこうということで、2校を1つの学校に統合したという経過がある。

それと同じように、光明小も単学級で学校統合も含めた検討が必要になってきたことから、光明小を隣接する末成小と統合することも含めて、今後の光明小の教育環境の適正化について考えていることをお伝えしたいということで、お集まりいただいた。

今、申し上げた教育的な課題と合わせて、教育制度というものを今後見直していかなければいけないので、これをきっかけに考えていきたい。今の教育制度は小学校6年間、中学校3年間、高校3年間、大学4年間の6・3・3・4制だが、これは戦後にできた学校教育法に基づいて制定されたものである。そのため、中学校は昭和22年が一番古く、その前の小学、中学、大学という3つのカテゴリしかなかったときの中学校というのは高校であった。戦後に中学校、高等学校という概念ができて、小学校と大学というのは変わらなかった。

昭和22年の段階で考えられた教育制度を今も運用しているが、当時の10歳から12歳の意識レベルや活動レベルと今を比較すると、2歳は若返っていると言われており、今の5年生ぐらいの子どもたちは中学校で勉強した方が成果が上がると言われている。また、1つのクラスで1人の先生が教えるということではなく、教科担任制で教科ごとに教えた方が能力が上がってくるとも言われている。そうしたことに対応するため、国で平成28年(2016年)に義務教育学校制度を導入している。これは小学校と中学校の9年間を合わせて、1つの学校としてとらえる考え方で、1年生から9年生までである。

義務教育学校であったとしても、途中で転入・転出もあるため、小学校で学ぶべき6年間は前期の6年間で学び、中学校は後半の3年間で学ぶというスタイルは変わらないが、教育方針は義務教育学校の中で自由に展開できることになる。中学校で数学を教えている教員が、5年生や6年生に対して算数を教えるということが可能になるのが

義務教育学校、いわゆる小中一貫校である。

こうした教育の転換期にも入っているので、宝塚市としても学校区の再編と合わせて、教育システムを変更する方向で検討していければと思っている。統合で学校規模を一定数保った上で、将来的に9年間で1つの義務教育という広い視点で見た中での教育活動が展開できるようにという方向性であり、義務教育学校の導入は少し時期が変わってくる。

資料2ページ目で末成小と光明小を詳しく見ていく。末成小が左側の表。一時期には1,800人を超す多さだった。これは昭和40年代に殖産住宅が末成町あたりに大きな住宅開発をしたことから、末成小を建設し、良元小から校区分離をして受け入れた。それでも子どもが多く、受け入れが十分できないことから、この光明小を後に立てた。

良元小の一部と末成小の一部を校区として、この光明小を設置してきたが、光明小は当初からそれほど大きな規模になることを想定したものではない。そのため、校区も非常に限定的で、校舎の造りも違和感がある。特に北館の特別教室棟は途中で子どもが増えた場合に増築できるような構造になっている。今は建築基準法が変わったので、この建物の増築というのは、当初想定した増築方法ではできない。当時は小規模校であろうということで、小さめの学校を建設したということである。ただ、この光明小においても、建設当時は一定の子どもがいたが、その後、少子化の影響を受けて、減少し続けている状況がこの表でも分かっていたかと思う。

先ほどもお話ししたように、小規模校における学校教育の課題として、単学級でクラス替えができない、人間関係が固定化しやすいという状況である。今は1クラスの中でも一定数、子どもがいるので、何となくこれでいけるのではないかという思いもあるかもしれないが、ここからさらに減ってきて、各学年が20人以下ぐらいになると、学級運営や友達関係が難しくなってくる。

例えば、1つの学年を20人として男女比が大体同じだった場合、男の子10人、女の子10人となるが、友達同士でのグループ化がされてくる。その時に少数のグループ、或いはグループの数が少ないと、自分に合ったグループがなかなか見当たらず、特にいじめられているわけでもなく、関係性が特段悪いわけではないが、少し自分と波長が合わないの、このクラスには居づらくなってしまいう現象も起きてしまう。そうしたこともあって、一定数で学校を維持することが望ましいと考えている。多様な意見に触れる機会が少なくなる、或いはクラスの中で自分のポジションというもの大体決まってしまう、競争意識というものがどんどん薄れてきてしまう、そんな実態もある。

後、大人との関わりである。身内以外の大人との関わりで学校というのが非常に強くなってくる。教師である。小規模校になると、その教師、大人との関わりが非常に限定的になってくる。一定規模であると、色々な特徴のある先生と接することによって、大人との接し方を学べるが、小規模校だとその機会が比較的減ってくる。

後、中学校進学時に生徒数の数に圧倒されるほか、新しい人間関係づくりに不安を感じやすいというのがあるが、これは中学校区が変更されたことによって一定緩和されてきているのかなと思う。進学したときのグループ化といった課題もある。

今、課題のあるところだけを申し上げたが、小規模校の良さというのも当然ある。

校長先生も1年生から6年生まで、子どもの様子が全部分かるというのは、この学校のメリットの1つだと思うので、小規模校のメリットを決して否定するわけではないが、より子どもたちが切磋琢磨する、そんな環境を作っていく。学校は集団を構成するところ

<p>事務局</p> <p>参加者</p>	<p>であるから、その集団というものを一定数確保していきたい。</p> <p>令和8年度の取組とあるが、すぐに学校統合ということではない。状況をしっかりと説明させていただき、皆さん方に把握していただいて、意識を醸成していく中で、この統合というのを進めていきたいと考えている。</p> <p>保護者への説明は今日が初めてだが、今後も継続して、進捗があるたびに皆さん方には説明をしていく。こういう保護者説明会やプリントの配布、すぐーるでの配信など、あらゆる手段を使ってしっかりと情報を開示していきたい。</p> <p>後、統合するとなれば、まちづくり協議会、或いはPTA同士、色んな関係団体同士の統合があるので、それぞれの団体同士、学校同士で、しっかりと話し合いができるような関係を作っていきたい。</p> <p>こうした取組をするにあたって、子どもたちに一定の影響というものが出てきて、不安に思う子どもたちが出てくると思う。そこは、聞くプロであるカウンセラーといった職員を配置して、定期的に子どもたちの心配事などを聞く場を設定していきたい。子どもたちだけではなく、保護者も含めて相談に乗れるような機会をしっかりと守っていきたい。</p> <p>統合となると、受け手となる学校側の施設整備も必要になってくる。現行の施設で受け入れというのはなかなか難しいところがあるので、しっかりと教室の環境整備を整えた上で移っていただく。</p> <p>統合の方法もいくつかある。未成小に行く、あるいは2校を閉校して新たな1校を作る。これは中山台でやったことである。中山桜台小の校舎を使うが、中山五月台小も中山桜台小も一旦閉校して、新たな学校を1つ作りましょうという考え方で取り組み、中山台小を作った。最初の卒業生が1期生という統合の仕方もあるので、未成側と協議をしながら決めていきたい。</p> <p>このようにいくつかの取組を令和8年度中に進めていきたいと思うが、これもしっかりと皆様方に説明した上で進めていきたい。</p> <p>統合の時期は1つの目安としてだが、当然この4月ではない。施設整備等と、皆さん方への説明も含めて十分な時間が持てないことから、1年後の4月ということもない。令和10年以後の時期になろうかと思う。令和10年なのか、11年なのか、或いは12年なのか。その間のどこかということになってくるかと思うが、具体的には皆さん方にまた早い段階でお知らせをしていきたい。どのような統合をするかということ、しっかりと説明会等で皆さん方の意見を聞いた上で、目標年度を定めていきたい。</p> <p>すでに地域や団体に少しずつご説明しているところで、噂だけが広まるということがないように、皆さん方に少しでも早く知っていただくということであるのでご理解をいただければと思う。その上で、皆さん方のご要望も含めて、ご意見をお聞かせいただき、今後検討する上での材料にさせていただきたいので、よろしく願います。</p> <p>これより質疑応答の時間とさせていただきます。ご質問のある方は挙手をお願いします。</p> <p>現在、子どもが放課後児童クラブに通っている。未成小と統合する場合には、人数を考慮していただきたい。</p> <p>また、娘がこの統合の話を知って、学校独自のルールが変わることにすごく不安を覚えているので、統合するのであれば、未成小の児童と1回だけでなく、何回か交流する機会を設けていただきたい。</p>
-----------------------	--

事務局	<p>中山台小を作ったときに、1クラスだった育成会を3クラスにし、待機児童数ゼロを1つのメリットとしてやった。そんな視点で整備していく。</p> <p>学校のルールは確かにそれぞれ違う。中山台小では事前に学校同士で話し合い、統合前の段階で、標準的なルールを作った。合わせて、統合の1年前は、校外活動を一緒に行くなど、色んな学校行事を合同で取り組み、子どもにとっては統合して初めて友達と会うという関係ではないようにした。そうした経験をしっかりと生かしていきたい。</p>
参加者	<p>今回、なぜ情報の公開がこのような順番になったのか。子どもたちへの説明が3/9に先にあって、今日(3/11)が保護者説明会という順番に疑問を持っている。学校統廃合について、私のイメージでは、教育委員会からの説明は「両校の管理職へ説明→教職員へ説明→保護者へ説明→子どもへ説明」だが、なぜ今回この順番になったのか理由を教えていただきたい。</p> <p>2点目は、なぜ両校でなく、光明だけの説明会なのか、未成は来週だとか。</p> <p>3点目は、子どもへのケアについてである。突然の説明で動揺している子どももいたようなので、今後どのようなケアをされるのか具体的に教えてほしい。</p>
事務局	<p>3/8(日)に未成小学校のまちづくり協議会に説明をした。そこから噂的に広がり、子どもたちに動揺が走るような伝わり方がしては良くないと学校が配慮し、3/9(月)に学校が子どもたちの様子を見ながら説明をした。保護者への説明とどちらが先かというのは、内部でも議論したが、子どもたちに学校から直接伝えるのが良いと考えてのことであった。</p> <p>両校合同での開催ではないのかについて、今の段階では小学校ごとに雰囲気も違うことから、分けて説明した方が良いとの判断で、学校別で説明をさせていただいた。</p> <p>子どもたちのケアについては、学校長を中心に子どもたちの様子をしっかりと見ながら、教育委員会と連携しながら、心理士、カウンセラーも含めて子どもたちのフォロー、必要な支援・措置につなげていきたい。</p>
参加者	<p>具体的なケアを聞きたい。私の子ではないが、かなり泣いてしまった子がいると聞いた。私から学校が合併するかもしれないという話は前から伝えていたので心づもりはできていたが、やはり友達の涙を見てしまって、未成ってどんなのかなと想像して泣いてしまった。大袈裟なことかもしれないが、転校はできないのかと漏らしたこともあったので、メンタル面が心配なのでお聞きしたい。</p>
事務局	<p>具体的なフォローについては、子どもの様子・状況によって対応が変わってくる。泣き出した子がいるのも聞いているが、詳しい状況を私自身が把握できていないので、具体的な対応を申し上げることはできない。先ほど申し上げたカウンセリングも含めて、その子の気持ちをしっかりと聞くことによって、対策をしっかりと講じていきたい。</p>
校長	<p>正解というのではないと思うが、教育委員会からは、先ほど保護者がおっしゃったような順番を提示されていた。ただ私は早い方が良いと判断した。実際、3/8に未成まちづくり協議会があり、翌日に統合の話を行っている子がいた。伝わり方がずいぶん違った</p>

	<p>のは事実であり、やはり3/9にしてよかったなと思っている。</p> <p>泣いてしまったお子さんは、私が一番初めに話をしたクラスであり、神妙に聞いていた。5分程で説明をし、質問や感想という時間を15分とった。その時に、その子が一番初めに挙手をして、質問しようとしたときに泣いてしまった。お友達がざっと寄ってきて「何が聞きたかったの」と聞いていた。すると「学校の名前を聞きたい」ということだったので、「両方の学校を寂しいけど閉じて、新しい学校を創るので、学校の名前はみんなで考える。子どもたちだけでなく、学校は地域のもので、あなたたちも卒業生も、それから地域の方たちの中で、本当にみんなの『こんな学校がいいな』っていう願いがこもった学校の名前をつけられたらいいね」と話した。そのことも加えながら、順番に6学年に説明に回ったが、私が説明した中で泣いたのはその子1人だった。</p> <p>休み時間にその子と同じクラスの女の子が保健室と校長室に来た。それ以降も毎日その子とお話はしている。説明後、保健室に来たのはその3人である。</p> <p>他の子たちも、おそらくすごく動揺はしていたと思うが、泣くほどではなかった。ただお家の中で色々なお話もされたと思う。こういう大きな衝撃があったときに、パッと反応が出る子もいれば、じわじわ反応が出る子もいて、やはり日々私たちが見ておくことが大事であり職員で十分協議している。</p> <p>スクールカウンセラー等の心のケアということもあるが、本当に困ったときに、全く知らない人にお話をするよりは、日頃から馴染んでいる、一番自分が相談しやすい人に話し、その後もなかなか落ち着かなければ専門の方につなぐという方針でいきたいと思っている。ただ、お子さんの最大の理解者は保護者だと思うので、それぞれの子に応じた対応をしていけるよう、気になられたことはいつでも教えていただきたい。</p> <p>急な案内であったため、今日も多くの方が来られないと予測し、来られた方と来られていない方で子どもたちへの伝わり方も分かれると考えた。子どもが初めに聞く言葉がすごく大事だと思い、クラスの中で話したいというのは、私の強い願いであった。その願いを教育委員会が聞いてくださったという経緯である。</p> <p>対策は「繋がり」である。ご意見はいろいろあると思うが、しっかりやっっていこうと思っでこのように考えた。ご理解いただけたらと思うし、ご意見があればお伺いしていく。</p>
参加者	<p>校長先生が子どもたちにお話しをした日、放課後学校に女の子が来て、「私泣いてしまった」と話していて、その子は「光明小がなくなった後にこの校舎が何になるかな」と言っていた。私としては児童館とかになって、みんなが来られるようにして欲しいという話をした。伝えておくという約束をしたので、それだけを伝えさせていただく。ショックなのは子どもたちなので、よく話を聞きながら進めていってほしい。よろしく願います。</p>
参加者	<p>本当にショックで、全然まだ受け入れられていない状態ではあるが、事前に資料をいただき、資料の表現について疑問がたくさんあったので、話させていただく。</p> <p>「4 小規模校における学校教育の課題」で、小規模校があたかもすぐ教育に対して問題がある、悪いことのように書かれている。</p> <p>クラス替えができないから人間関係が固定化しやすいということだが、我が子は高司中に通っており、グループ分けというのはクラス替え関係なくある程度ある。クラス替えもいろいろな配慮をして、毎年時間をかけて先生方が考えてくださっている。</p> <p>②に関して、今は本当に一人ひとりが違う環境で育って、違う考え方、特性があっ</p>

バラバラで、多様な人間性の時代なので、人数が少ないからといってそれがすごく不利益になると感じていない。実際、6年間一緒に育つことで光明の子たちは大人に教えられることだけではなく、子ども同士で自然にこの子はこういうことが苦手だけどこれは得意だよとかをきちんと学んで、6年間成長して卒業していったし、個々に応じた声かけ対応がしっかりできるように育っていた。競争意識も育ちにくいと書かれているが、私の子が高司中に入った1年生のときは、間違っただけを自分と違う出身校の子に対して注意をし、正直トラブルになったりすることもあって、私も何回も中学校に赴いた。やはり光明の子は間違っていることは間違っている、こうした方が良くときちんと注意できるように6年間かけて育っている。大人数の中で空気を読み、社会の中で立場を考えないといけなかったことももちろんあるが、小学校6年間で学ばないといけないのかというのは少し疑問だなと思う。

③も幼保交流等の取組のように中学校に上がるときも、近隣の小学校と交流を図るような取組をすればいいのではないかな。

④も、入学当初に関しては、グループができて入りにくいということはあると思うが、体育祭や転地学習があったり、中学校自体も新しい仲間づくりのイベントを最初の方に組み込んだり工夫もされている。時間のかかる子もいるが、子どもたちは学校生活の中で新しい友達関係、仲間づくりができていたのを実際に見てきた。

⑤も、どの小学校から来る子も、小学校から中学校に変わるというのはすごく大きくストレスがかかることである。

どの課題に関しても、別に小規模校だからというわけではないと思う。そういう書かれ方をするのは少し不適切、こじつけかなと事前に資料を見させていただいて感じた。

「5 令和8年度の取組(案)について」も、光明小保護者が未成小へ見学に行くと、まるで吸収されるような案だが、そうではなく、未成小の児童や保護者、先生も光明小に見に来るべきだと思う。光明小の人数が少ないゆえにできている取組もたくさんあるかもしれない。子どもたちの人生の糧になるような取組、異学年で縦割りという形、子どもたちが子どもたちを引っ張って行って、自分たちで企画を考えて、すごく良い取組をされているのを保護者として見てきた。光明小に来て、実際の現場で光明小の子たちがどんな関わりをどんな雰囲気で行っているのかを見ていただきたい。

お互いがお互いの良いところをきちんと見るために、もう少し具体的に、時期や回数や内容をしっかり考えていただき、それから協議を進めていく必要があると思う。そのためにはもっと年数もかかると思う。今言われたみたいに令和10年は早すぎると思う。

高司中の校区変更の時も、期間がなさすぎて、保護者も戸惑ったし、本当に大変だった。今回の案に関しても、突然決めた状態で持ってこられて、本当にショックで、遺憾である。こういったやり方は、大人としておかしいと思う。あの時に「これ以降やらないでください」とお願いしたのに、それがたった2年でまた同じことをされ、本当にショックである。もう少しきちんと年数をかけて、綿密に具体的に計画していただきたい。

事務局

「小規模校における学校教育の課題」という書き方をしたが、決して小規模校の良さを否定するものではない。当然良い部分というのは統合後も生かされるべきであるので、表現を改めていく。

それと、今はまだ課題と感じなくても、さらにここから減ってきてしまうと色々な弊害も出てくるので、そこから統合という遅くなるため、もっと減ってきたときにどのような課

	<p>題が生じるのかという説明と資料を整理していきたい。</p> <p>令和8年度の取組について、当然、未成小と光明小は対等に学び合いというのはしていかないといけない。そこは、しっかりと両校が連携して、光明小の良さ、或いは保護者等の現状等をしっかりと把握していく必要がある。おっしゃる通りであるので、その取組を強化していきたい。</p> <p>今後こちらの考えていることや情報をしっかりと皆さん方に共有しながら進めていく、今日はそのスタートにしたい。急いで少しでも情報を伝えていこうということでこういう会議となり、結果、唐突感があるという指摘を受けている。次の段階に進むときは、都度、皆さん方に尋ね、一旦戻って考えるとか、そうした時間の使い方をしていきたい。</p> <p>年数については、長くかけるべきとの考えと、一方では、自分の年はどうなるのかというところが不安な子どもや、自分が1年生で入学する段階では最初から新たな学校に行きたいという子どももおられるので、スタート時期というのは総合的に勘案していく必要がある。そこは、皆さん方あるいは今後入学してくる就学前のご家庭の意見を十分に聞きながら、丁寧に進めていきたい。</p>
参加者	<p>泣いているお子さんが1人しかいなかったということだが、私の子も泣いている。ポロポロと泣くのではなく、心で泣いている。親の私もいたたまれなくなる。学校では出せずに帰ってきた。先ほど同じクラスの子たちが、私に駆け寄ってきて、「説明会に行くなら私たちの意見も言ってきて」と目に涙を浮かべて言ってきた。校長先生が「私ではどうしようもできないんだよ」とおっしゃったから、みんなは、多分、自分の言葉を飲み込んだと思う。みんな先生が好きだし、先生を困らせたくなかったから言えなかったと思う。</p> <p>子どもたちが学校や先生、友達とかを大好きしているので、2年で急に統合すると言われても、子どもも一番そばで支えているお母さんたちも納得できない。一番負担がかかるのはお母さんで、お仕事もあって、子どもにかかりっきりでないお母さんもたくさんいるので、カウンセラーをつけるから大丈夫と考えないで欲しい。</p> <p>後、中学校の件についても、高司中がどうということではないが、我が家は宝塚第一中に通わせようと思って今の家を購入した。いきなり学校が統合と言われて、驚いているし、受験となるとお金もかかるし、生活ががらりと変わってしまう。もう少ししっかり考えた上で決断して欲しい。</p>
事務局	<p>子どもたちの心情には十分に寄り添っていく必要がある。</p>
校長	<p>今のお母さんのお子さんは、統合の話を伝えた当日、少し帰るのを渋られた。もう1人の子と担任とそのことをしっかり話している。お家でのように泣きはされなかったが、色んな不安を語っている。その子だけでなく「ざわざわ」は、私たちがしっかり時間を取りながらやっていこうと言っている中に入っている。泣いたのは私が見た限りは1人で、担任たちも見たのも1人だが、もしかしたらトイレで泣いているかもしれないし、それは分からない。私は常々、私たちが見られるのは子どもの本当に一部で、それで大丈夫だとか良いとか判断する気は全くないが、何かそういうときに一緒に考えられる学校でありたく、今いただいたご意見もありがたいなと思う。</p> <p>「私の力ではどうしようもないのよ」とは、私は全くそのようなことは申し上げておらず、事実だけしか言っていない。「2年後にはなる可能性が高い」とも話している。それ</p>

	<p>が「延びるかもしれない。」とも。</p> <p>だから、今の3年生が新しい学校を創るときの最高学年リーダーになる可能性があるので、今から4・5・6年でやっていかないとだね、というような話をしている。それは普段ならかけないプレッシャーだったかもしれないが、今日も職員会議でみんな話をしたが、「どんな学校を作っていくか」というのは、一緒になるから始まったことではなくて、先ほどのお母さんがおっしゃったように、当校は縦割りをしながら、子どもがどんな学校にしたいか、どんなことに力を入れていくかというようなことをしている学校である。</p> <p>昨日も代表委員会という各学級(学年)1年生から6年生まで2人ずつと委員会活動からも出て、今年の振り返りの中で、まず4年生の男の子が、「みんながいつも笑っている学校にしたい」と言った。次に手を挙げたのは1年生の男の子で、「この学校に来て、困っているときに助けてもらった、助け合える学校にしたい」と、大きな声で言ったので、私はとても感動した。今日の学校だよりも書いたが、その次に6年生の男の子が、「そうは言っても集会のときに、みんなが振り返りを発表できるかどうかを考えたら、恥ずかしくて言えない子もたくさんいるよね。恥ずかしい子でも安心して挑戦できる学校にしていけないといけないのではないか」ということを言った。不安もいろいろあると思うが、今どんな状況で、どうやっていくかというのは考えられるようにしたい。決して我慢しろとか、こうだから仕方がないと言う気はないが、ある程度決まっていることであれば、そこにどうやってチャンネルを合わせていくかについて頑張って取り組んでいきたいなど思っている。</p>
事務局	<p>中学校への進学のお話があったが、宝塚第一中も選択できる緩和措置について、変更はない。未成小と統合したから高司中にしか進学できないということではない。</p>
参加者	<p>3点あって、1点は質問で2点は要望である。</p> <p>まず1点目は、今回のお話は前提として、保護者は意見を言ってどこまで覆るものなのか。光明小が無くなるということ、統合先が未成であるということ、これは検討の余地があるのか。</p> <p>2点目は、移行期間についてである。先ほどのお話にあったように2年では短いというところもあるが、やはり校区も考えながら生活基盤を整えているところもあり、児童への影響を最小限にする必要があるかなとも思うので、例えば、今後3年間入学してくる子に関しては光明小で卒業までいることができる、それ以降に関しては募集を停止するとか、影響を最小限にするような移行措置を少し検討していただきたい。</p> <p>3点目は、「意見を聞く」というところについてである。学校教育の課題と挙げていただいているが、光明小に通わせることに関しては、小規模校であることを承知の上でも通わせているので、これが課題となるかどうかはやはり個別具体的になるかなと思う。それを踏まえた上で、何がその児童にとって、親にとって良いのかということに関しては、親だけではなく、児童からもしっかりとアプリとかそういったものを使用して、1人ひとりの意見を吸い上げていただいて、またその吸い上げた結果をこういった説明の場で開示していただく、そこから議論をまわしていくような取組を行っていただきたい。</p>
事務局	<p>前提としてどこまで意見できるのかということだが、小規模校の適正化の手法としては、隣接する学校の校区を取り入れることによって維持をする、或いは統合することによ</p>

<p>参加者</p>	<p>って規模を維持するという方法があるが、隣接する全ての学校区が近い将来小規模化していく。そのため、手法としては校区変更ではなく、統合しか残されていないというのがこの周辺地域の事情である。その際に、隣接する学校であれば、高司小・良元小も対象となるが、幹線道路等を勘案し、良元小は中津浜線を超えていかないといけないという登下校に係る大きな課題があるため、未成小が良いと考えている。これ以外にももし良いアイデアがあれば意見として伺って検討する余地はあるが、教育委員会としてはそう考えている。</p> <p>移行期間が2年なのか3年なのか。例えばある年以降の入学者は統合先の学校に入学させるとした場合、光明小の在学生在が学年単位では維持されるが、学校全体としての児童数が維持されず、学校行事や活動の機会が阻害されてくることもあるので、現時点ではどこかの段階で一斉に統合する方が良いのではと考えている。ただその辺りもしっかり検討していきたい。</p> <p>子どもの意見表明権はしっかり確保していく。ただその前段で、子どもたちがこの教育環境がどうなのかについてどこまで理解できるのか。感情だけで答えを言ってしまうのかといった心配もある。学校と相談しながら、しっかりと子どもたちの思い、意見をくみ取れるよう検討していく。</p> <p>今日の時点で、子どもたちの意見を尊重されているとは思えない。このやり方はおかしい。2年前に、5月に入ってから高司中に校区変更するとの話が出て、1年も満たない間に子どもたちは自分たちが行くと思っていたはずの学校ではないところに急に決められた。1年かけて話し合っただけで決めて受けた。その時に、私は小学校に関しても、今後、こういった変遷（統合）が考えられるのではないかと確認したはずだ。その時は「一切ない」と聞いた。それが2年も経たない今日、不信感しかない。当事者は子どもたちであって、その子どもを見られるのは保護者である。</p> <p>まちづくり協議会と話して、そこから子どもたちの耳に入らないと学校も考えて、早めに子どもたちに話をしたということだが、それまでに保護者と十分話し合いをし、保護者から子どもたちに伝えるべきではなかったか。2年前に、今後、小学校に校区編成なり何かあるならば、もっと早い段階で、まず保護者からというふうにして欲しいと何度もお伝えしたはずである。今日以降に話し合いをしていくというが、これまでにできることがあったはずである。ある意味これも1つの人権問題である。</p> <p>もっと前から話せたのではないか。そもそも、いつから小学校を編成しようと思っていたのか。少子化、小規模校というが、それは前から分かっていた。2年前に「ない」と言っていたのに、いつからこの話を考え出したのか。</p> <p>まちづくり協議会より、保護者が先ではないか。みんなの地域ではあるが、子どものことを考えれば、保護者が先ではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>確かに2年前の段階では、具体的な計画・考えはなかった。まずは中学校区からというところであったので、その段階で小学校をという考えはなかった。その後、他校の適正化が進んできて、市としても順次取り組んでいく中で、小規模校としての光明小があり、検討する俎上に上がってきた。いつから考え出したのかということ、今年度の秋ぐらいからである。もっと前からとのことであるが、これがその前段であるというふうにお考えいただければと思う。教育委員会としては、年度変わってからこうした保護者説明会を</p>

	<p>と考えたが、学校と協議している中で、少しでも早く皆さまに直接お話をさせていただく機会を持つ方が良いだろうということで判断し、こうなった。</p> <p>そして、説明する順については、基本的にやはり保護者からしっかりと説明すべきだと考えている。ただ、あまり時期を遅らせない方が良く考えた時に、今回はスケジュール上まちづくり協議会の定例会の方が早かった。同じ時期にとの思いから、日程が前後してしまった。保護者に少し早くおろしていきたいという思いは絶えず持っている。保護者を第一に考えて取り組んでいく。</p>
参加者	<p>光明小から末成小にとの一方方向にしか読み取れないが、統合の方向性はまだ検討の余地があるのか。</p>
事務局	<p>統合の方向性については、どうしても施設的な規模が重要になってくる。冒頭にもお話ししたように、光明小はそもそも大きな規模で作られていない。今後、適正な規模で教室を確保するには末成小が適している。</p> <p>具体的な方法としては、末成小に吸収されるということではない。そういう方法もあると例を示したつもりだった。2校を閉校して新たな学校を1つ創るという方法がある。中山台で行い、他市でも行われている方法である。場所は末成小を使うが、新しい学校の子どもたちになる。今後の協議の必要があるが、教育委員会としては基本的にその方法で進めていきたいと考えている。</p>
参加者	<p>中学校区編成時に、緩和措置を決めて話は進んだと思うが、それは反故にはされない、という理解でよいか。</p>
事務局	<p>そのとおりで、緩和措置は継続する。</p>
参加者	<p>卒業学年の保護者であるので、在校生の保護者の皆様を思い遣れていないご発言があったら申し訳ないので先にお断りさせていただく。</p> <p>卒業する身で考えると、光明小の小さな規模の温かい空気というのは、すごく大好きだった。それから、やはり子どもたちにとっては帰ってくる場所があるというのはすごく、心の支え、拠り所になると思う。資料の課題のところに、「公共施設の維持管理」の点とかも挙がっているので心配で、例えば、光明小の校舎が老朽化していて壊さなくてはならないとかが今回関係があるのか。「義務教育学校」とも触れているが、例えば、この校舎について、尼崎市では4月に学びの多様化学校が開校されるが、宝塚市でもそんな学校として残るとか、神戸市のみなとやま水族館のように学校の跡地を市民に開放して楽しい場所にするとか、そういった夢のあるプランを市の方々と検討していただける余地があるのかどうか伺いたい。</p>
事務局	<p>光明小が古くて壊さなければならないということではない。ただ、統合後の教室数の確保や教室の規模を考えると、末成小で一部改修工事をして使った方が教育活動としてより効果があるという考え方になる。</p> <p>小学校がどういうふうになっていくのかというのは教育委員会だけでは決められないが、今後については市の公共施設マネジメント推進会議があり、その中に私も入ってい</p>

<p>参加者 (オンライン)</p>	<p>るので、しっかりと皆さんの意見を伝えていきたい。</p> <p>統合に向けて今の在校生の児童、保護者、地域への負担増がないようお願いしたい。特に期限ありきで拙速に進められるのは負担が増えるので、期限ありきは避けていただけないか。後、何点か要望を申し上げるが、ご回答はなくて結構である。</p> <p>跡地の活用について、現時点からマネジメント会議の俎上に上げていただき、市役所の関係課等で連携していただいて、地域への検討状況も並行して進めていただきたい。統合して空っぽになってからの検討では、不審者の出入り等があっても困るので、速やかに計画を作成していただきたい。</p> <p>中山五月台の跡地利活用は、結局全然進んでないような印象だが、こちらは幹線道路に面しており、価値はあると思うので計画をしていただきたい。</p> <p>後、ステークホルダーについて、地域の学校と言われているのであれば、例えば卒業生への告知、開校して45年以上経っていて、市外に出ている方も多と思うが、何らかの方法で統合されるという告知を最終段階でしていただきたい。私も保護者なので今回知ったが、そうでなければ全然知る機会がないため、留意していただきたい。</p> <p>次に質疑である。</p> <p>この件は令和8年度の事業予算が付いたから出た話なのか。予算がもし付かなければ今回の話は立ち上がらなかったのかどうか。予算や事業要求説明書とかあれば、金額は黒塗りでいいので情報開示してどういう内容で予算を取っているのか教えていただきたい。</p> <p>後、統合について、吸収なのか廃校なのかお教えいただきたい。</p> <p>今日の資料も、少子高齢化や小規模校の短所長所等でなく、教育委員会として実際のところの内部事情を書きいただけないかと思う。例えば、教員数不足で2校を運用すると非効率なので最適配分したい、建物が老朽化して補修にメンテナンス費用がかかるから1校にさせてほしい、県からの補助金が少ないので何とかならないかとか。もう少し全体最適の観点も今日のご説明でもしていただきたい。</p> <p>統合についての全体のスケジュール等が示されず残念である。例えば、中山台の事例を踏まえて、こんな感じで1年目、2年目をやって、最終3年でこういう形でやったとか。そういうようなモデルがあるのであればロードマップとして示してほしい。</p> <p>意見だが、10年近く前にも検討会があったと思うが、当時の論点整理が不十分だったのか。10年前よりは若干減っているが、そんなには変わらない。動向としては読めていたのではないかと思うので、昨年度、中学校区の変更時にこれも含めた全体としての課題として検討いただきたい。小出しにせず全体像を示していただけませんか。</p> <p>中学校区の変更についても、引き続き両校のオープンスクールの情報や、卒業生が何人どちらの学校に進学したかについて定期的に情報提供をお願いしたい。経営の実状としての本心をお話いただけたらと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず令和8年度予算について、この統合に向けた予算化というのはない。別途、未成小の事情で、今回1年生の学級数が増えることから、未成小の教室整備という予算はあるが、統合のための予算ではない。必要な場合には補正予算対応をしていきたい。</p> <p>統合なのか吸収なのかということについて、あくまでも未成小にしても光明小にしても、あるいは別の学校であったとしても、これは基本的に対等だと考えている。両方の子</p>

	<p>どもたちが楽しく通える学校づくりを目指していきたい。</p> <p>背景として、教員不足や2校の改修工事等が大変だからではということについて、確かに教員が今不足している実態はあるが、それを理由に統合ということではない。ただ、施設面では子どもの数が一番多かったときの学校数を維持していくというのは非常に市としても厳しい状況にある。今後、市が現状の活動、公共施設を維持していくことは非常に難しいという状況にあり、そこは維持管理しやすい規模感に持っていきたいとは考えている。</p> <p>特に公共施設の約半数が学校施設であり、学校も今後持続可能な行政運営という視点で考えたときには、一定数を削減する方法はとっていかねばいけない。これは税金が入ってくる額が減り、かつ高齢者等、他で今後必要になってくるものが増えてくるからである。そういう意味で今の学校数の維持というのは非常に厳しく、小規模校については統合等の検討が必要であろうと考えている。</p> <p>全体のロードマップについて、今日はおおよその考え方をお示したが、次回以降は1つのたたき台として、具体的な年数を示した資料を提供していきたいと思う。</p> <p>10年ほど前にも光明小の中で統合を検討したことはあった。ただ同じ時期に中山台でも並行して検討していて、中山台の方が子どもの数が少なかったこともあり、影響も大きいため一斉に取り組むことも難しいことから、中山台を優先してやって、その経験を踏まえてから光明小の検討というやりとりがあった。それが10年ほど前である。</p> <p>中学校進学については、人数について情報共有を図っていく。</p> <p>今後、具体的な説明をするに当たり、私たちの持っている情報、ロードマップも含めて、皆さん方にご提示する中でご意見をしっかりと承っていききたい。</p>
参加者 (オンライン)	<p>中山台の事例について、もし今後必要になれば、こういうふうになったというのを経験者の方からお話を聞くような機会というのを考えていただければと思った。</p>
事務局	<p>検討させていただく。</p>
参加者	<p>今在籍している子ども・保護者のみならず、これから入学してくる子ども・保護者についてはいつ説明をされるのか。説明すると、光明小の校長先生や教頭先生、先生に優先が向くと思うので、教育委員会には光明小の先生を支えて欲しい。</p>
事務局	<p>教育委員会としてできる限り対面で説明し、直接ご意見を伺っていききたい。そのため、今日の説明会を未就学児保護者に対してアーカイブ配信するとかではなく、また説明会の機会を設けていく。早期に新1年生、また就学前の保護者に説明する機会の日程調整をしていきたい。</p> <p>統合は、教育委員会と学校がしっかりと連携してやっていかないといけない。決して学校任せにすることなく、教育委員会は主体的に責任を持って対応していきたい。ただ、子どもたちと直接接するのは学校で、そこは先生方が長けていると思うので、それぞれの長所をしっかりと生かしながら、教育委員会と学校が連携して取り組んでいく。</p>
参加者	<p>先ほど、立ち上がった話が一旦消えてまた立ち上がったということについて、立ち上がったのは去年の秋頃という理解でよろしいか。</p>

事務局	<p>中山台小ではどれぐらい前から計画され、どれぐらい説明を要して統合になったのか教えていただきたい。</p> <p>未成のまちづくり協議会に先に説明があったということだが、まちづくり協議会も地域の一員であり、ご説明する必要はあったと思うが、それでもまず先に光明小保護者へ先に話して、まちづくり協議会の会議が直近であっても、別に1ヶ月先でも問題なかったのではないかと思う。</p> <p>一旦置いて、庁内的に具体的な議論が出たのがこの秋頃である。</p> <p>中山台は多くのテーマを並行して検討してきた。まずは幼稚園の統廃合、そして中学校。中山台と光明はだいたい同じ時期に検討を始めた。少し中山台が数か月ほど早かった。最終的に統合したのが令和4年度である。コロナの関係で会議が持てなかったことから、少し時期をずらした。多くの課題を順番に解決してきて、平成28年度から令和4年度までかかった。</p> <p>説明の順がまずは光明小学校の保護者ではということについて、関係団体の集まる時期と皆さん方に集まっていただけの時期が前後してしまった。非常に申し訳なかった。しっかりと今いただいたご意見を踏まえて、今後のスケジュールは設定していきたい。</p>
校長	<p>説明時期をもう少し後でということだが、学校の子どものことを考えると、4月から今の担任と今の学級でやってきて、今が集大成である。関係性が薄い4月に入ってからこの大きな問題を出しておきたかった。今ならしっかり子どもたちのことを全職員が知っているの、そういう状態の中でこのことを受けとめようということだった。今度4月に着任した者といろいろなことがある中で、学級開きも学校づくりもそれともというのは、少し私は自信がなかったというところが実際である。</p> <p>子どもたちへの説明から終業式までまだ2週間ある。その中で、特に月曜日に出したというのは月から金までの1週間を見ることができ。そして3連休があって、数日、少しずつ「ざわざわ」が落ち着きながら春休みを迎え、そして4月の新学期にはまた新しい担任の先生とスタートが切れるという状況にしたかった。それが良かったのかどうか分からないが、私たち職員みんなで考えた結果であった。</p>
参加者	<p>現4年生が最後の卒業生とすると、現3年生の子たちは統合した年に修学旅行や運動会や卒業式を、自分たちのクラスの2倍以上の数の子どもたちと行う。その下の現2年生の子たちも、統合した年に自然学校に行く。それが本当に子どもの権利とかを考えて最善なのか、よく考えて進めていっていただきたい。</p> <p>子どもが1番の当事者になる。子どもに「例えばあなたが小6で、未成小と一緒にになったらどういう気持ちになる？」って聞くと、「嬉しい気持ちもあるけど、人数が増えるのが不安という気持ちがある」と答えた。在校生の子を大切に考えて進めてもらいたい。</p> <p>少子化とかで統合の話は仕方がないと思うが、地図上とか、数字上で見るだけではなく、子どもとその保護者、光明小・宝塚を選んで子育てをしている家庭のことをよく考えていただきたい。</p> <p>個人的な意見だが今日は保育所の卒園式だった。午前が良い式があり、午後これである。この時期に話すご都合があったと思うが、親から見たら、公立の保育所・小学</p>

事務局	<p>校・中学校でつながっているように見えるので、時期の調整をしていただきたかった。</p> <p>それぞれの思いをしっかりと受け止めていきたい。過渡期に在校生となるお子さんについては確かに一定の負担がかかってくると思う。これが子どもたちにとって成長という意味で良い機会になるような仕組みをしっかりと作っていかねばならないと思う。決してマイナスではなく、子どもたちにとって良い経験になるような取組にしていきたい。</p> <p>保育所の卒園式と日程が一緒だったことについて、心情を推し量ることができずに申し訳なかった。</p>
事務局	<p>本日は貴重なご意見をいただき感謝する。今日の会議の説明内容やご意見等について、ホームページ等、何かの形で報告させていただく。引き続きこういう説明会の場を設けていきたいと思うので、よろしくお願いします。</p>